

2018/10/09 potatotips #55

1

Google Assistant でログイン

ZOZOテクノロジーズ 武田修平 / sesta / せすた

武田修平

- ▶ 株式会社ZOZOテクノロジーズ、新事業を担当
- ▶ Google Assistant周り、Firebase、Flutter を触ってる
- ▶ 一児のパパで趣味は庭いじり
- ▶ 月にはいかない、行きたいという気持ちはある

Voice User Interface

VUI が熱い

- ▶ Google の Google Home、Amazon の Alexa、LINE の Clova と続々とハードとともにSDKを公開、誰でもスキルが作れる
- ▶ Apple も SiriKit を公開、iOS12 から使用可能に
- ▶ ハードウェアの種類も増え続け、年内にはタブレットタイプが日本にも登場

Google Assistant は VUI を備えたアシスタントシステム

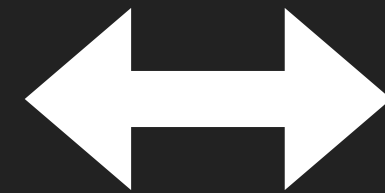
- ▶ Google Home は Google Assistant が利用できるデバイスの1つ
- ▶ Google Assistant は Android と iOS の両方で利用でき
SDKでは視覚的なUIもサポートしている
- ▶ 自分で追加していく機能のことを Google Assistant では「アプリ」と呼ぶ
(Alexa でいう「スキル」のこと。ややこしい)



Actions on Google

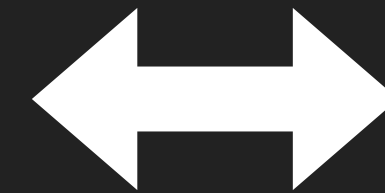
ユーザーに対する
入出力を担当

アプリ全体に関わる
設定はここ



















発話の内容を分析し
処理の種類を決定

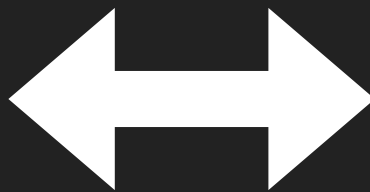
単純な応答なら
この部分だけで十分



用意したサーバーで
任意の処理を実行

AWS Lambda など
でも良い

 Web Demo <input type="checkbox"/>	 Facebook Messenger <input type="checkbox"/>	 Dialogflow Phone Gateway BETA <input type="checkbox"/>	 Slack <input checked="" type="checkbox"/>
 Viber <input type="checkbox"/>	 Twitter <input type="checkbox"/>	 Twilio IP <input type="checkbox"/>	 Twilio (Text messaging) <input type="checkbox"/>
 Skype <input type="checkbox"/>	 Tropo (Text messaging) <input type="checkbox"/>	 Telegram <input type="checkbox"/>	 Kik <input type="checkbox"/>
 LINE <input type="checkbox"/>	 Cisco Spark <input type="checkbox"/>	 Amazon Alexa <input type="checkbox"/>	 Microsoft Cortana <input type="checkbox"/>



 Dialogflow

発話の内容を分析し
処理の種類を決定

単純な応答なら
この部分だけで十分

Google Assistant で ログアウト

デフォルトだとユーザーを識別できない

- ▶ Firebase などのバックエンドに渡ってくる情報はセッションIDといった会話ごとに個別なものだけ
- ▶ Google Assistant を利用するには Google アカウントと紐付けが必須
しかし、そのアカウントにはアプリからアクセスできない
(Clova の場合、LINEのユーザーIDがくっついてるのでどうとでもなる)
- ▶ そこで用意されてるのが **Account Linking** という機能

アプリ上でログインしたユーザーに ID が振られる

- ▶ 振られた ID は全てのリクエストの中に含まれるようになるのでこの ID を元にデータを管理したりすればよい
- ▶ Account Linking は Action on Google が提供している機能で管理画面からログイン方法を設定することで利用できる

- ▶ 声でアカウントを作成
- ▶ 任意の website でログイン

Add account linking

1

Account creation

☒ Yes, allow users to sign up for new accounts via voice

☐ No, I only want to allow account creation on my website
Select this option if you want to display your terms of service or obtain user consents during sign-up.

NEXT

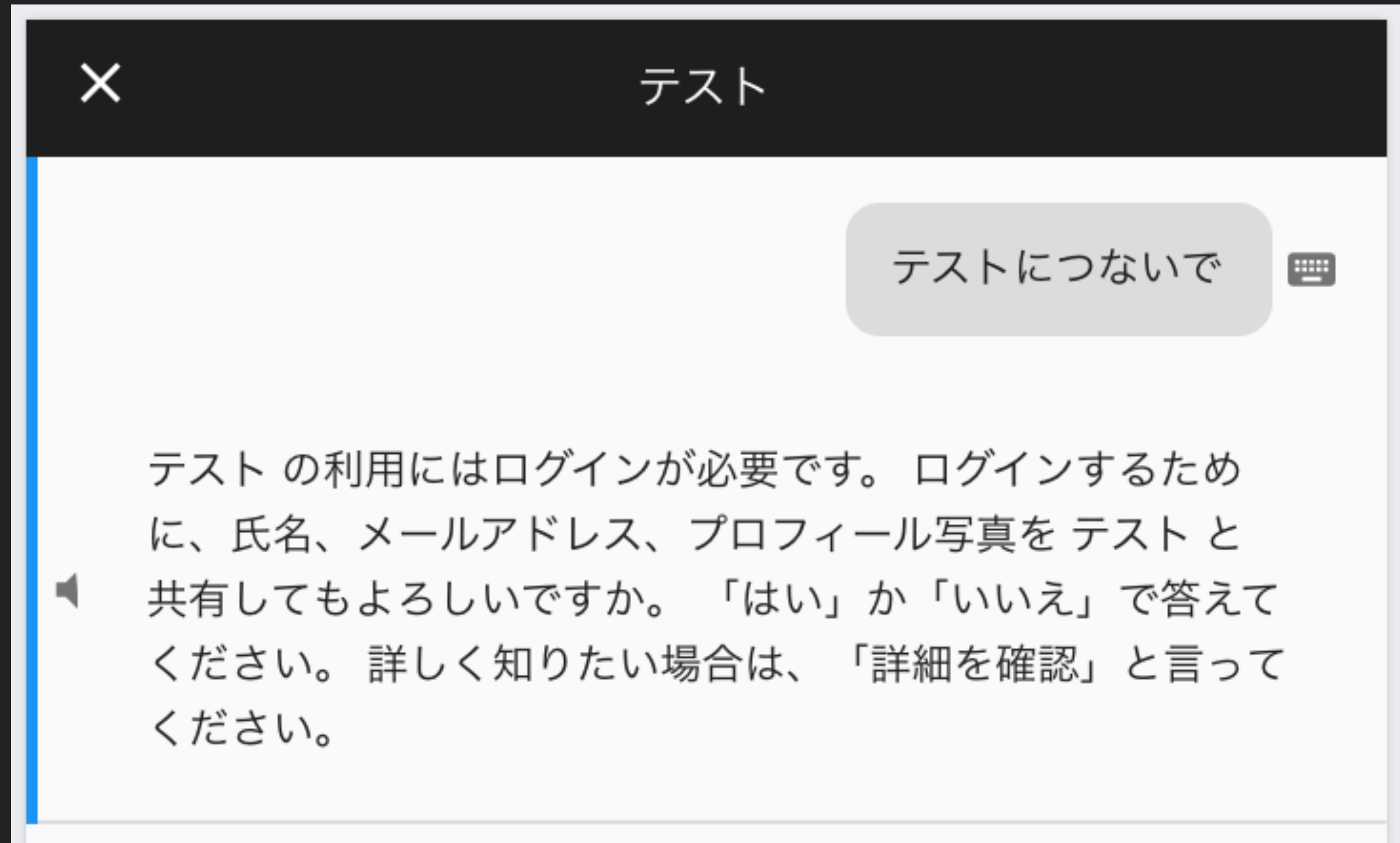
2

Linking type

CANCEL

SAVE

Google Assistant に紐づいているアカウントを利用できる機能



- ▶ 声でアカウントを作成
 - ▶ 👍 声だけで済むので圧倒的に楽
 - ▶ 👎 他のサービスと紐づけようとするとう結局 website でのログインが必要になる
- ▶ 任意の website でログイン
 - ▶ 👍 OAuth が使えれば任意のサービスとの紐付けが可能
 - ▶ 👍 規約への同意なども挟める
 - ▶ 👎 ディスプレイを持つ端末が必須

- ▶ ディスプレイがない端末だと、スマホとかに処理を移してくれる
 - ▶ 別の端末に移るのは思った以上にハードルが高かったので
必要になった時に初めてログインを要求した方がよさそう
- ▶ リリース前のチェックに用いられるアカウントは ID の形式が違う
 - ▶ IDに / とか = が入ってる
 - ▶ Firestore の documentID にしてた日にはもう、、、

可能性がすごいので開発者が増えてほしい

- ▶ 声だけで言えるの楽、手を離す必要もそっちを見る必要もない
- ▶ UXもコードの設計もむずい
 - ▶ ページとかビューとかの概念がないので
1つのページで全ての機能がワンタップで使えちゃうイメージ

END